

○ 平成28年度建築基準整備促進事業 新規公募調査事項の候補案について

No.	調査事項名(案)	概要
1	高密配筋を行った鉄筋コンクリート造部材を用いた架構の構造特性係数の合理化に関する検討	鉄筋コンクリート造部材の性能評価の合理化のため、保有水平耐力計算におけるせん断補強指標等に関する実験・検討を行う。
2	相模トラフ沿いの巨大地震等による設計用長周期地震動の作成手法に関する検討	相模トラフ沿いの長周期地震動への対策を行うため、震源近傍の設計用長周期地震動を適切に作成する手法等の検討を行う。
3	共同住宅の界壁等の遮音性能に関する技術的基準の検討	小屋裏又は天井裏に達することがなくても一定の遮音性能を有する界壁・天井等の設計方法や仕様等の技術的知見を得るための実験・検討を行う。
4	不燃材料等に関する大臣認定仕様基準の検討	既存の木造耐火や不燃材料(壁紙など)の大臣認定の構造方法等について、これらの認定内容から一般的な基準を新たに定めるために必要な実験・検討を行う。
5	法適合に向けた既存建築物の防火改修の手法の検討	既存不適格建築物を対象とした防火・避難安全性能の確保のため、実態把握や段階的な改修における安全評価に関する検討を行う。
6	定期報告制度の調査・検討項目等の見直しの検討	定期調査・検査の実施状況の実態を把握し、調査・検査項目、報告のスパンの見直し等の検討を行う。
7	長期優良住宅における鉄筋コンクリート壁式構造の評価の合理化に関する検討	鉄筋コンクリート壁式構造の高い損傷防止性能を長期優良住宅として適切に評価するための実験・検討を行う。
8	地域型住宅における省エネ技術の評価のための簡易熱負荷計算法の検討	建築的省エネ技術を柔軟に評価するため、省エネ基準評価用に特化し、簡易化した熱負荷計算法の開発等を行う。
9	業務用コージェネレーション設備の性能評価手法の合理化に関する検討	コージェネレーション設備(CGS)のエネルギー消費特性評価手法の合理化を図るため、時々刻々の特性変化を考慮した評価手法の開発等を行う。

※上記の案は、平成28年3月9日時点のものであり、今後変更される可能性がありますので予めご了承ください。